

金融庁の伊藤豊長官と、ヒューレックス(株)(仙台市青葉区)の松橋隆広代表取締役社長が対談。前回に引き続き「地域金融強化プラン」について、地域金融機関が地域経済の活性化に貢献するために提示された方針や具体的な施策や今後の展望について話を聞いた。その後編をお届けする。

**松橋** 前回は「地域金融強化プラン」について、全体像や目指す姿などについて伺いました。また地域企業がさまざまなプレーヤーと手を組んで事業を行うにあたって、地域金融機関はそのコーディネーター役としてもふさわしいというお話しもしていただきました。その続きからお聞かせください。

してもらう必要があり、広い経営・金融リテラシーが必要になります。

しやる金融機関同士が情報交換をしながら、地域のため

はみんな他社での成功事例やその手法を学びたいと思っています。それを金融機関が導いてくれると、更に良いですね。

使命感と責任感を持って貢献しているという取り組みは、金融機関で働く皆さんの刺激となり、結果として金融業界の課題である離職者を防止するという好循環につながりますね。

**伊藤** 他金融機関との間、地域との関係する事業者等との間で、最適な人材を紹介し合い、M&Aや地域活性化事業などの成功事例を共有するなどの関係性を構築できれば、地域金融機関が地域に貢献する力はさらに高まり、職員のやりがいも高まり、金融機関からの離職者を防ぐことにもつながります。

**伊藤** 企業文化なども関係してくるのでしょうか、役員皆がやりがいを持って地域のために頑張れるような大義が職員をひきつけます。それは収益にも結び付き、収益が上がればプロジェクトも発展する。ビジネスマインドで地域活性化を進めること

一方で、事業者等の皆さんの側には、金融機関が伴走することのそうした価値を理解

**松橋** 地域に貢献したいという熱い想いを持っていらつ

いう熱い想いを持っていらつ

いう熱い想いを持っていらつ



ヒューレックス(株)  
代表取締役社長

## 松橋 隆広 氏

まつはし・たかひろ 1963年生まれ。青森県出身。86年山一証券(株)入社。2003年ヒューレックス(株)設立、13年マリッジパートナーズ(株)設立、16年事業承継推進機構(株)を設立、それぞれ代表取締役社長に就任。事業承継の総合的な支援を行っている。

# The 地方創生

## 高度な専門性への支援と期待

**松橋** 事業承継支援やDX推進など、地域金融機関に高度な専門性が求められる分野において、金融庁として具体的にどのような支援策を講じておられますか。

**伊藤** 地域金融強化プランの第一歩にも示した通り、いろいろな成功事例を全国の金融機関で共有していくことが有効です。その上で金融機関同士が、直接情報交換し、それぞれの状況に応じてカスタマイズしていく。事業者の

地域金融強化プラン

学官金連携を推進し、広く地域産業の発展に貢献する取り組みが進んでいます。しかしPRが今一つなので、なかなか他地域に広まらない。他の素晴らしい取組もアピール不足でなかなか広がらない。皆さん宣伝が苦手なんです。そこで金融庁がまとめて宣伝することにしました。良い取組が広がっていくきっかけになることを期待しています。



金融庁  
長官

## 伊藤 豊 氏

いとう・ゆたか 1963年生まれ。埼玉県出身。89年東京大学法学部卒業、大蔵省入省。91年米国コーネル大学留学。大蔵省銀行局銀行課課長補佐、財務省大臣官房秘書課長などを経て、2019年に金融庁監督局審議官、22年監督局長、25年6月より現職。

を掲げ取り組んでおられるトップはたくさんいます。その考えを是非社員の皆さんに浸透させていたいただきたい。自分たちの長所を共通認識とし、一体となって取

り組んでいくことでまだまだ潜在力を発揮できると思います。我々が提示した「地域金融力強化プラン」はただのカタログです。ここに皆さんが魂を入れて活用してください。我々もPRに加わりながら、どんどんバージョンアップしていきたいですね。

松橋 そうですね。大切なのは、お客様と地域のためにという強い使命感です。その想いがあれば、どのような課題も乗り越えられると信じています。弊社は現在、340を超える地域金融機関と提携しております。全国の金融機関の皆さまとともに、人材紹介・事業承継支援を通じて、まさにその橋渡し役を担ってまいりました。さらに、金融機関向けの勉強会を定期的開催し、人材紹介と事業承継に関する知見の共有に加え、参加された金融機関同士が交流できる機会を創出しております。今後も、長官のおっしゃる金融機関の垣根を越えた連携に向けて、弊社のネットワークとノウハウを最大限に活かし、成功事例を全国の金融機関、そしてその先にある地域企業へと展開してまいります。

# 地方創生から新しい日本の未来をつくる

金融庁長官伊藤豊氏×

ヒューレックス(株)代表取締役社長松橋隆広氏

【後編】

皆さん、地域の皆さんもそうした金融力を求めています。直接聞きに行ったり、オンラインを活用したりして、取組の勘所を共有していく。事業

承継支援やDX推進にとどまらず、地域活性化全体を金融機関がコーディネートすることで、地元での金融機関の評価は爆上がりするでしょう。

## 金融仲介を超えた役割に期待

松橋 長官から地域を守っている地方銀行・信用金庫・信用組合で働く皆さんにエールをお願いします。

い人財力をお持ちです。とても高い組織としての信用力もありません。しかしながら、それを必ずしもマネタイズできていない点に課題があるわけです。「地域金融力強化プラン」も活用していただき、更に地域に貢献し自らの収益基盤を強化しそれを地域に還元

伊藤 金融機関の役職員の皆さんへの研修などと呼ばれ講演することもあり、そこでもお伝えしていることです。が、地域金融機関は非常に高

松橋 「金融仲介」を超えた役割への期待は、ますます高まるのが予測されます。十年後の地域金融機関が、地域社会の中でどのような存在であるべきか。将来のビジョンについて、お聞かせください。

伊藤 それぞれの金融機関がご自身で考えることがとても重要です。自分たちはこの地域で、こういう金融機関になりたいんだ、と明確な目標

松橋 そうですね。大切なのは、お客様と地域のためにという強い使命感です。その想いがあれば、どのような課題も乗り越えられると信じています。弊社は現在、340を超える地域金融機関と提携しております。全国の金融機関の皆さまとともに、人材紹介・事業承継支援を通じて、まさにその橋渡し役を担ってまいりました。さらに、金融機関向けの勉強会を定期的開催し、人材紹介と事業承継に関する知見の共有に加え、参加された金融機関同士が交流できる機会を創出しております。今後も、長官のおっしゃる金融機関の垣根を越えた連携に向けて、弊社のネットワークとノウハウを最大限に活かし、成功事例を全国の金融機関、そしてその先にある地域企業へと展開してまいります。

現在、日本企業の課題とされている「人的資本経営」や「見えざる資産の価値」は、まさに私どもが現場で日々直面する課題そのものであり、企業の未来を「人」と「事業」の両面からご支援することこそが、地域金融の活性化に不可欠であると確信しております。本日はありがとうございました。

